

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		環境保全課
	04	02	01	03	01	

政策
快適で良好な生活環境づくり

政策の内容

環境法令に基づく事業者への立入検査により、規制基準の順守状況の調査・指導を実施します。
市内全域の大気汚染、水質汚濁状況などを監視することで、環境基準の達成、維持を図り、快適で良好な生活環境を確保します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活環境の快適さ	あなたの暮らしている地域の生活環境(大気、水、土壌など)には、大きな問題はないと感じますか。	3.40	3.37				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

各種環境法令に基づき、事業場に対する立入検査を通じて、規制基準遵守を指導している。また、大気・水質の常時監視を実施し、市内の環境基準達成状況を監視している。
環境基準は一部未達成項目があることから、快適で良好な生活環境を確保するため、継続的な立入検査を実施する。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	24,619				
決算	22,255				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	18.0				
会計年度任用職員	1.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	1.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
大気・騒音対策 事業	1. 大気汚染への対策 ・大気汚染防止法に基づく大気汚染の常時監視及び測定データの公表 ・大気汚染防止法対象特定事業場への立入検査の実施 ・大気汚染に係る緊急時の対応(光化学オキシダント注意報の発令等)	4,211
	2. 騒音・振動への対策 ・騒音規制法に基づく自動車騒音、航空機騒音の観測及び測定データの公表 ・騒音規制法・振動規制法対象特定事業場への立入検査の実施 3. 悪臭への対策 ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制の対応	3,089
水質保全事業	1. 公共用水域及び地下水の監視事業 ・水質汚濁防止法に基づく公共用水域(河川、湖沼等)における水質汚濁の常時監視及び地下水の概況調査の実施 ・過去に発生した汚染地点の水質継続監視及び測定データの公表	18,473
	2. 土壌汚染への対策 ・土壌汚染対策法に関する届出の受付等 3. 地下水の保全対策 ・静岡県地下水の採取に関する条例の施行に関する業務の実施 ・西遠地域地下水利用対策協議会に関する業務の実施 4. 佐鳴湖関連事業 ・佐鳴湖の水環境を含む佐鳴湖地域協議会に関する各種取組の実施	17,372
環境保全デジ タル運営経費	1. デジタル機器の活用 ・市内の事業場の公害関係情報をシステムにて一元管理し、事業場への指導等に活用 ・事故・苦情対応時の現地調査におけるタブレット端末の活用 ・公共用水域の測定データを電算システムで活用処理し、ホームページにて公表	1,935
		1,794

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
計画に基づく立入検査実施率(%)	立入検査実施件数/立入検査計画件数(%)	計画に基づく立入検査の実績を測る指標であり、実施率の増加により、規制基準の遵守に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	100	100	100	100	100
			実績値	66.7	99.4				
			達成率	-	99%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
立入検査指導率(%)	勧告・命令に至った指導件数/計画に基づく立入検査実施件数(%)	本政策の内容に関し、環境基準達成を推進する必要があることから本指標を設定した。 勧告・命令に至るまでの違反のあった事業者に対し是正指導をすることで、規制基準遵守および市内の環境基準の達成を見込んでいる。	目標値	-	0	0	0	0	0
			実績値	0	0				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
大気4項目及び公共用水域40項目の環境基準達成率(%)		大気及び公共用水域計44項目の環境基準達成項目数/大気及び公共用水域計44項目	実績値	94.8	2026年8月確定					100
			達成率	95%	-					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

市民一人ひとりの日常生活や事業者の経済活動において、環境に対する負荷が低減するとともに、環境を保全する活動が浸透し、豊かで良好な自然環境と社会経済活動が共存し、快適で安全・安心な生活環境が確保されている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
大気・騒音対策事業	1. 大気汚染への対策 ・大気汚染防止法に基づく大気汚染の常時監視を行った(2026.8月結果公表)。 ・大気汚染防止法対象特定事業場への立入検査を実施した(立入件数25件)。 ・大気汚染に係る緊急時への対応(光化学オキシダント注意報の発令等)は無かった。 2. 騒音・振動対策事業 ・騒音規制法に基づく自動車騒音、航空機騒音を測定した(2026.8月結果公表)。 ・騒音規制法・振動規制法対象特定事業場への立入検査を実施した(立入件数75件)。 3. 悪臭対策事業 ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制への対応は発生しなかった。	デジタルを活用した立入手法を検討し、持続可能な検査体制を構築するとともに、職員の専門知識の向上及び技術の継承を進めるため、研修受講やOJTを計画的に実施する。
水質保全事業	1. 公共用水域及び地下水の監視事業 ・水質汚濁防止法に基づく公共用水域(河川、湖沼等)における水質汚濁の常時監視及び地下水の概況調査を実施した(2026.8月公表)。 ・過去に発生した汚染地点の水質継続監視にかかる測定データを整理した(2026.8月結果公表)。 2. 土壌汚染対策関連事業 ・土壌汚染対策法に関する届出の受付等を行った(届出件数146件)。 3. 地下水の保全事業 ・静岡県地下水の採取に関する条例の施行に関する業務を実施した。 ・西遠地域地下水利用対策協議会に関する業務を実施した。 4. 佐鳴湖関連事業 ・佐鳴湖の水環境を含む佐鳴湖地域協議会に関する各種取組を実施した。	デジタルを活用した立入手法を検討し、持続可能な検査体制を構築するとともに、職員の専門知識の向上及び技術の継承を進めるため、研修受講やOJTを計画的に実施する。
環境保全デジタル運営経費	1. デジタル機器の活用 ・市内の事業場の公害関係情報をシステムにて一元管理し、事業場への指導等に活用した。 ・事故・苦情対応時の現地調査においてタブレット端末を活用した。	業務の効率化及び事務負担の軽減を図るため、自動化・デジタル化の推進に継続して取り組む。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
指標定義の誤記の修正	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

大気・騒音対策事業、水質保全事業、環境保全デジタル運営経費については、それぞれ計画どおり実施し、生活環境の保全に寄与することができた。

活動(アウトプット)指標は99.4%、短期成果(アウトカム)指標は100%であり、大きな改善が見られた。長期成果(アウトカム)指標は2026年8月に確定する。

引き続き法令に基づく監視・指導及びシステムの安定運用に努めるとともに、専門知識を有する職員の育成と自動化・デジタル化の推進を進め、監視体制の維持と業務の効率化を図る。